省エネ マニュアル

２０１４ 冬

2014.11.17　第５版

財務部施設課　　　028-649-5071　／　gijyutu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp
ご意見・ご要望がございましたら、ご連絡ください。

1．照明編

日常の使用について

■不在時、昼休みは消灯しましょう。

使用していない箇所（人がいないエリア）は消灯しましょう。

■廊下、ピロティなど共用部の照明は間引きしましょう。

■教室、研究室、教員室、事務室などの照明は、必要な照度（300ルクス）を確保して、間引き・消灯しましょう。

※財務部施設課にて照度測定器を貸し出しいたします。

■自然光を利用しましょう

日中の快晴の日には、窓際の照明を消灯しましょう。

日常のお手入れについて

■両端が黒くなったり、ちらつき始めた蛍光ランプは早めに交換しましょう。

明るさが落ちても消費電力は同じです。

1年に1回のお手入れについて

■年に1回程度は、照明器具本体（反射板）や蛍光ランプを拭き掃除しましょう。

埃などの汚れがついたままだと反射率が悪くなり、明るさが1年間で約20％落ちます。

2. エアコン編

日常の使用について

■暖房使用時は、室内の温度を19度以下にしましょう。

暖房温度を1℃低めに設定すると、約10%の省エネになります。

■不在時はエアコンを止めましょう。

退出する場合は、直前ではなく、少し早めに止めると省エネになります。

■カーテンやブラインドで遮熱効果。

冬は、カーテンやブラインドを開けて日光を取り入れると暖房効果が良くなります。

日が落ちたらカーテンやブラインドを閉めて断熱しましょう。

■扇風機を併用しましょう。

天井にたまりがちな暖気を循環させると暖房効果が良くなります。

■風向きの調節をしましょう。

エアコンのルーバーを、暖房中は下向きにすると効率が良くなります。

■二重暖房はやめましょう。

エアコンと、電気ストーブ等の併用は避けましょう。

エアコンの方が、電気ストーブよりエネルギー効率が約3倍高いため。

日常のお手入れについて

■暖房期前にフィルターを清掃しましょう。

清掃しないと暖房の効率が悪くなるばかりでなく、室内に埃をまきちらすことになり、室内環境が悪くなります。

■暖房期間中は室内機のフィルターを月に1回程度は清掃しましょう。

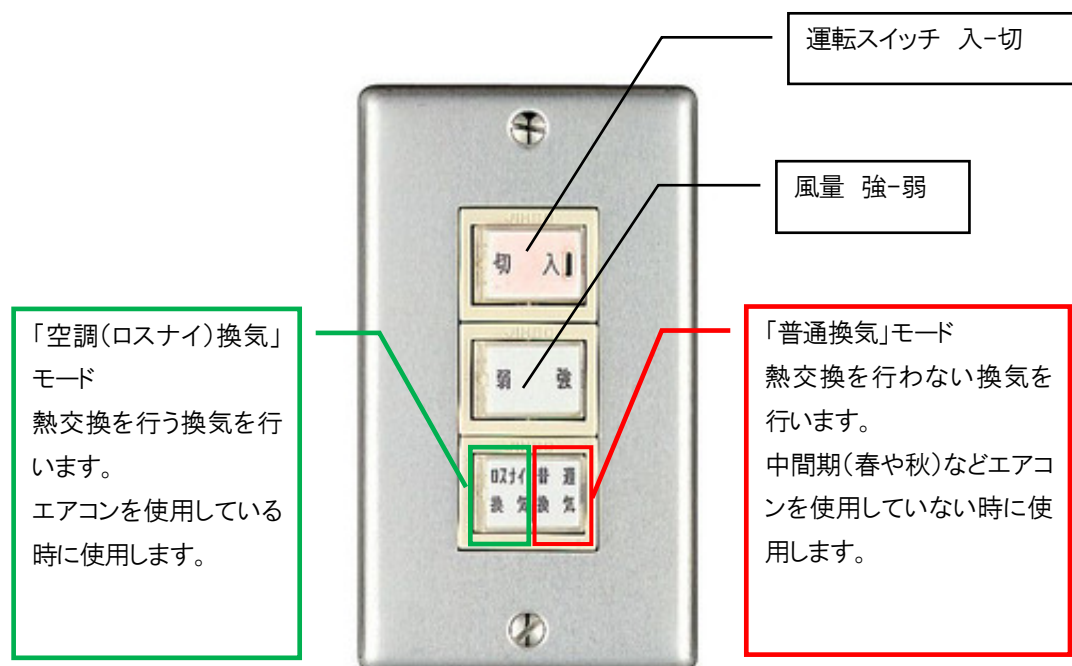
フィルターが目詰まりしているエアコンでは、暖房効率がさがり、無駄なエネルギーを使います。

フィルターをこまめに清掃することにより、約6%の省エネになります。

※フィルターのはずし方など、ご不明の場合は、財務部施設課までお問い合わせください。

熱交換型換気扇の使い方について

建物の改修工事時などに熱交換型換気扇を設置しています。

この熱交換型換気扇は、室内に取り入れる外気と室外に排出する空気の間で熱交換を行う機能を持っています。このことにより、エアコンの冷暖房負荷の低減に効果的で、通常の換気扇使用時より、約20%の省エネになります。

※機種によってスイッチの形状は違いますが、基本的な操作は同じです。
操作について不明な点がございましたら、財務部施設課までお問い合わせください。

3. ＯＡ機器編

日常の使用について

■省エネモードに設定しましょう。

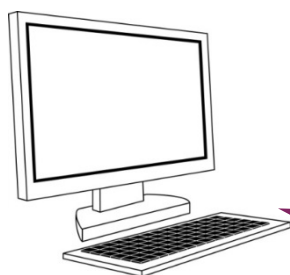
パソコン、プリンター、複写機などは待機モードや省エネモードを活用しましょう。

ディスプレイの明るさは低めに設定しましょう。

職員Webサイトにパソコンの電源オプションの設定方法が掲示してあります。

TOP ＞ パソコン等・ネットワーク・情報セキュリティに関する情報 ＞【事務】パソコン・メール・プリンタ等の設定方法 ＞ 電源オプションの設定方法(省エネルギー対策)
https://johowww.jm.utsunomiya-u.ac.jp/staff/modules/it/index.php?cat_id=25

■不在時、昼休みは電源を切りましょう。

モニターなどの周辺機器の電源も切りましょう。

「省電力機能」の設定は機種により異なりますので、取扱説明書で確認するか、複写機のサービスカウンターにお問い合わせください。

※消費電力(W)を測定できる装置を財務部施設課にて貸し出しいたします。

4. 電気機器・設備編

便座等

■便座の暖房や温水の温度を低めに設定しましょう。

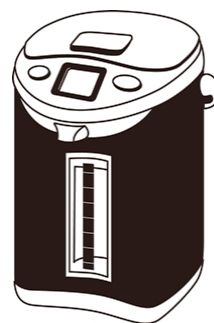
■便座のフタを閉めましょう。

「使わないときにフタを閉める」ことで
約 28%の省エネとなります。
1台あたり約 20kWh/年間
約 400 円/年間

電気ポット 、コーヒーメーカー

■電気ポット、コーヒーメーカーの保温をやめましょう。

保温時も電気を消費しています、 必要なときにその都度沸かしましょう。
（沸かす量は、必要な分にしましょう。）

〇電気ポット： 保温時1台あたり約 60W/h
約 20 円/日
（10 年前の製品、2.2L クラスでの試算）
〇沸かす量を減らした場合（室温 23℃ 水温 23℃）
2.2L 約 7 円
0.6L 約 2 円

冷蔵庫・冷凍庫

■冷蔵庫の使用は、必要最小限にしましょう。

■冷蔵庫は、できる範囲で集約化しましょう。

■支障の無い範囲で、設定温度を高めにしましょう。

集約化等により減らした場合
1 台あたり約 900kWh/年間
約 18,000 円/年間
（15 年前の製品、400L クラスでの試算）

エレベータ

■重い荷物を運ぶときや体調不良のとき以外は、使用しないようにしましょう。

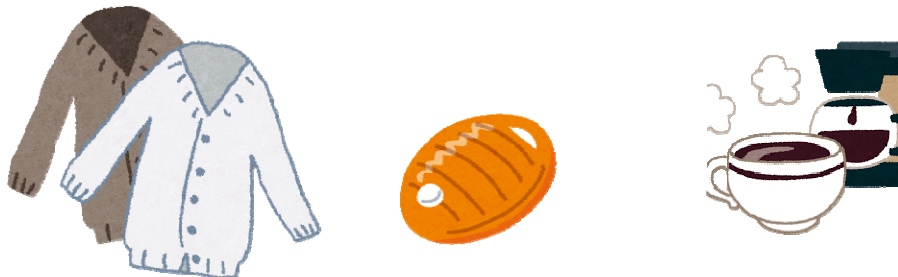
健康のためにも階段を使いましょう。

5. その他

ウォームビズ

■できる範囲で温かく動きやすい工夫をしましょう

執務の状況にあわせて服装に工夫をしましょう。

膝掛けを使用したり首元や足元を保温するなど、部分的に温めるだけでも体感温度に効果があります。

環境省のWARM BIZホームページに、生活の中でわたしたちができる衣食住の小さな工夫が掲載されております。ぜひ一度ご覧ください。

WARM BIZ HP http://funtoshare.env.go.jp/warmbiz/

事例集等の活用

■文部科学省作成の手引き及び事例集を活用しましょう。

文部科学省のHPには、「大学等における省エネルギー対策事例集」が掲載されております。

「業務用機器（実験装置）編」においては、ドラフトチャンバーやフリーザー等の実験装置の省エネルギー対策方法を紹介しております。 是非、ご活用下さい。

文部科学省 HP http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/green/1292005.htm

省エネ相談

省エネルギー活動を行ううえで、お困りの事は無いでしょうか？

お気軽に財務部施設課環境管理係（内線5071）までご相談ください。